

さぬき舞人 令和6年福島復興PR遠征報告

4月6日（土）

最初に訪れたのは、富岡町の世の森桜まつりの会場、原発事故の影響により町内全域に避難指示が出された福島県富岡町、その中で昨年4月に最後に避難指示が解除された夜の森地区では、14年ぶりとなる事故前と同じ夜の森公園での桜まつりの開催となりました。

会場は生憎の雨模様にも関わらず、多くのお客様が来場し、震災から力強く歩んでいる富岡町を感じました。



さぬき市のマスコットキャラクター『さっきー』ちゃんと共に登場したさぬき舞人はオープニングの貴重な時間に地元のよさこい連『さくらよさこい天花』さんと共に演舞し、たくさんの声援の中踊ることができました。

さぬき市から持参したさぬき市の観光・ふるさと納税のパンフレットやクリアファイル、さっきーシールを配布しながら、さぬき市の上り三カ寺や讃岐うどんなどをPRし、さぬき市への来訪の呼びかけも行いました。

ここでもさっきーは子供たちに大人気でした。



次に、福島県いわき市のいわき震災伝承みらい館に訪問し、地元のよさこい連『神谷＊花華』さんの案内のもと施設の見学をしました。

職員の方からのお話、震災当時の映像や震災経験者のお話の動画などを見せていただき、この辺りにはたくさんの民家がある集落であり、津波により多くの方がなくなった場所であること、現在

は整備され、きれいに見えるが、ここに住んでいた多くの方がこの地を離れ、高台に移転してしまったことなど、多くのことを教えていただきました。



また、展示物の中には、津波の中で残った奇跡のピアノなどの展示もあり、当時のことを忘れない、また地震・津波の被害を多くの方に伝えることがこの施設の役割であるとお聞きし、私たちも今回の経験を一人でも多くの方に伝えると共に、私たち自らが地震に対して常に備えておくことの重要性を改めて感じました。

生憎の天気であった屋上の展望台からの太平洋は、当時の津波とは到底違うものですが、瀬戸内海を常に見ている私たちからすると津波を思わずのに十分すぎるほどの高波でした。



4月7日（日）



福島2日目は富岡町のシンボル全長2.2キロにも及ぶ桜並木の下で行われた夜の森桜まつりのよさこいステージに参加しました。



昨年参加した時には、桜の開花が早く葉桜の中での演舞でしたが、今年は7分咲きとなり多くのお客さんで賑わっていました。

参加チームのほとんどが福島県内からの参加でしたが、『昨年の訪問から楽しみに待っていた。』との声を頂いたり、『今年も来てくれてありがとう。』との声を聞いたりとてもうれしくなりました。この日も香川県に来たことがある人がほとんどいない福島の地で香川県さぬき市のPRをたくさんさせていただきました。

さっきーが手を振るとたくさんの方が大きく笑顔で振り返してくれました。

福島県議の長尾トモ子議員もお土産を手にわざわざ挨拶にお越しください、『遠いところ来てくれてありがとう。これからも福島とさぬきの交流を続けていきましょうね。』と温かいお言葉をかけていただきました。

今回も沢山の方にお世話になり、最高の福島遠征になりました。



PR 効果

○夜の森桜まつり（福島県富岡町）

4月6日（土）

オープニングイベントとしてメイン会場で
よさこい演舞

- ・観客数 約 2000 名
- ・さぬき市の紹介、PR
- ・マスコットキャラクター「さっきー」登場
- ・記念品の手渡しによる配布
 - ・さぬき市クリアファイル 200 枚
 - ・さぬき市ふるさと納税や観光チラシ 200 枚
 - ・さっきーシール 200 枚



○富岡町桜まつり（福島県富岡町）

4月7日（日）

- ・観客動員数約 25,000 人（2日間）
- 参加踊り連 17 チーム、
- 踊り子総数約 500 人

